

2023日本学生スプリントトライアスロン選手権 兼トライアスロン・チームタイムトライアル選手権大会



競技説明会



JTU競技規則・ローカルルール

1. 本大会は、**JTU競技規則**、学連ローカルルール（学連HP記載）及び競技説明会資料（本資料）記載内容に基づいて運営される。
2. 学連ローカルルール及び本資料記載内容は、JTU競技規則に優先する。但し、学連ローカルルール及び本資料に記載のない内容については、JTU競技規則を準用する。
3. 各選手がJTU競技規則、ローカルルールをよく確認すること。

Competition Rules2023



学連HP→



10/21 (土) 全選手

時間	内容	会場
12:00~16:00	選手受付	エイブルスポーツ交流センター

10/22 (日) 大会スケジュール

時間	内容	会場
6:00~7:00	選手最終登録	大会本部
6:30~7:45	トランジションエリアオープン (バイク搬入可)	トランジションエリア
6:30~7:30	ストックホイール受付	ホイールステーション
7:00~7:15	開会式	大会本部
7:30~7:55	男子オープン入水チェック	スイムエリア
8:00	男子オープンスタート	スイムエリア
8:55~9:15	女子選手権・女子オープン 入水チェック	スイムエリア
9:20	女子選手権・女子オープン スタート	スイムエリア



10/22(日) 大会スケジュール



時間	内容	会場
9:50	男子選手権入水チェック	スイムエリア
10:20	男子選手権スタート	スイムエリア
11:20~11:45	女子チームタイムトライアル 入水チェック	スイムエリア
11:45~	女子チームタイムトライアル スタート	スイムエリア
12:40	男子チームタイムトライアル 入水チェック	スイムエリア
13:10	男子チームタイムトライアル スタート	スイムエリア
15:00	閉会式	本部

コース全体図



スイムコース
往復750m × 1周

バイクコース
1周7km × 3周

ランコース
往復2.5km × 2周

● 緊急車両待機場所
▲ エイド

レースウェアについて(選手権)

- レースウェアは競技者の名前のイニシャル、学校、大学チーム名、及び市販されている状態でのメーカー・ブランドショップ名のロゴ表示のみを推奨。
- **ファスナーが背面についているものを使用しなければならない。**
- **レース中、レース後に上半身裸になってはいけない。**

レースウェアについて(オープン)

特に規定は設けない

レースナンバーの記入

両腕・両足・両手の甲の計6か所



スイムスキップ

※今大会では認めない

ウェットスーツの着用・スイムキャップについて

- ウェットスーツの着用はJTU規則に準ずる。
- 悪天候や水温上昇によって、着用義務になる場合もある。
22℃以上で禁止となる
(着用についてはスタート1時間前に告知する)
- ウェットスーツの下にナンバーカードを付けたまま、競技を行うことを禁止する。
- 今大会ではスイムキャップを配布する。
各選手が必ず支給された公式スイムキャップを使用すること。



アンクルバンドについて

- 入水チェック時に**アンクルバンドを必ず受け取り、**
足首に装着する。
- いかなる理由があっても**アンクルバンドが外れた状態で**
フィニッシュした選手は、失格とする。
- ウェットスーツを脱ぐ際など、アンクルバンドが
外れないよう十分注意する。
- ウェットスーツの上からアンクルバンドはつけないこと。



入水チェックについて

- ・入水チェックに**遅れた・行わなかった選手は失格とする。**
- ・一度、入水チェックを行った選手は**スイム終了までスイム会場から出ることはできない。**

**※入水チェックは指定された時間のみ可能
各自スケジュールを確認すること**



トランジションエリアについて

※トランジションエリアは指定された時間のみ開放

スタート前 6:30~7:45 バイク搬入可

競技終了後 15:00~

DHバーの取り外しのためにトランジション立ち入りは認めない

スプリント及びチームTT両方に参加する選手はDHバーを使用しないこと

各自の備品を調整するためにトランジションエリアに入る際は、T0の指示に従うこと

※出入り口では

レースナンバー(バイク・ヘルメット・ナンバーカード)

の確認を大会スタッフが行う。



ドラフティング及び DH バーについて

男子選手権 :ドラフティング許可・DH バー**使用禁止**

女子選手権 :ドラフティング禁止・DH バー**使用可能**

(女子オープンと同時にスタートするため)

男女オープン:ドラフティング禁止・DH バー**使用可能**

チーム T.T.:チーム内でのみドラフティング許可・DH バー**使用禁止**

スプリント及びチームTT両方に出場する選手は必ずDHバーを外しておくこと



バイク競技時の注意点

バイク搬入時

- バイクを搬入時、**必ずヘルメットのストラップを締めること。**
- バイクをラックにかけるときは、**ラックナンバーが手前に見える向きにかける。向きを逆にした場合、他の選手に対する妨害行為とみなしペナルティの対象とする。**
- **バイク搬入時間以降の搬入は認めない。**
時間に遅れた選手は失格とする。
- **競技に関係ないものをトランジションエリアに持ち込む事は認めない。**



バイク競技時の注意点

バイク競技開始時 ①

- ヘルメットのストラップは
ラックからバイクを取り出す前にしっかりと締めること。
※違反者はペナルティの対象（10秒）

バイク競技開始時 ②

- ナンバーカードを2枚つけたゼッケンベルトを
必ず装着しなければならない。
- ナンバーカードをつけずにバイク競技を開始した選手は失格とする。
- 2枚のうち1枚のナンバーカードが競技中に突発的に外れた場合は、残る1枚のナンバーカードがT0から見えるように位置を調整する。



バイク競技時の注意点

バイク競技終了時

- バイクフィニッシュ後は**バイクをラックに掛けた後に**ヘルメットのストラップを外すこと。
- バイク終了後もバイクをラックにかけるときは、ラックナンバーが**手前に見える向き**にサドルを掛ける。
※違反者はペナルティの対象（10秒）



競技備品の回収

- 競技備品の搬入、回収は原則選手本人が行い、レースナンバーを担当TOに提示しなければならない。
- トランジションエリアの競技用具は、許可があるまで取り出せない。但し、特別な理由がある場合のみ、回収を認める。
- 救護等の理由で選手本人が回収できない場合は代理での回収を認める。その際、当該選手のレースナンバーを提示する。



乗降車ラインについて 乗車時



足がラインを一步越えてから！

降車時



足が一步ついてから！



競技中・キープレフト

- **キープレフトを厳守する**
(キープレフトとは路肩、コース左端から1m以内を基準として走行すること)
- 追い越す際は後方を確認して**右側から**追い越すこと。
- 追い越す際には追い越す選手に声をかけ、安全に配慮すること。
- **二重追い越しを禁止**とする。
- 周回数のカウントは選手の自己管理とする。各自サイクルコンピュータなどを使用することを推奨する



ペナルティについて

- JTU競技規則及びローカルルールに違反する行為に対してはペナルティを与える。
- 競技中に適用を受けなかった場合でも、レース後に違反行為が認められた場合はペナルティを与えることがある。
- ペナルティは審判長によって
タイムペナルティ(TP)ルールが適用される。

Competition Rules2023



タイムペナルティ

ドラフティング違反: +60秒

競技中に発生した他の反則: +10秒

レース中、必ずペナルティボックスに入って消化する。消化しなかった選手は**失格**

例 ・バイクをラックにかける方向が逆の選手。
・乗降車ラインで違反した選手
フライングが認められた場合

・レースナンバーをボックスに提示することにより
対象者への通知とする。
・各自**必ずホワイトボードを確認すること**



ストックホイールについて

- ディスクブレーキ及びディスクバイク用ホイールの使用を許可する。
 - 出場選手**1～19名**の場合、
団体ごとに前後輪1組のストックホイールとし、
20名以降は10名増えるごとに
リムホイール・ディスクバイク用ホイールを1組ずつ追加できる。
- 例)リムホイール、ディスクバイク用ホイールをそれぞれ使用するとき
- 出場選手が1～19名の団体の場合
リムホイール1組、ディスクバイク用ホイール1組→計2組



その他注意事項



悪天候時の競技内容変更について

- 降雨及び強風の影響でコースのコンディションが悪化し、安全に競技を行うことができないと判断された場合、**競技内容が変更になる場合がある。**
- 原則として、変更は当日の朝に決定及びアナウンスを行う。
- 大会本部からのアナウンスや学連公式Xをよく確認する。



その他注意事項

体調管理・リタイヤ

- 脱水症や熱中症予防のため
水分補給を心がけること。
- 熱中症、低体温症両方の対策を各自行うこと。
- リタイヤする場合は
必ずT0 に申し出て、
T0にアンクルバンドを返却すること。
- バイク競技中にリタイヤした場合、
バイクに乗車せず、押して会場まで戻ること。



その他注意事項

写真撮影のルール

- 写真撮影を希望される方は大会受付で**メディア受付**を行い、大会中は許可証を身に付けて撮影をすること。
また、撮影終了後は**許可証を大会受付まで返却**すること。
- トランジションエリアの撮影は一切禁止とする。



その他注意事項

マナーについて

- TOに対する**暴言・暴行は行わないこと。**
- マナーを守った応援を行うこと。
また、立ち入り禁止エリア内の応援は禁止とする。
- 渡良瀬遊水地の利用ガイドを参照すること。
- フィニッシュ後、**上半身裸になる等の行為は行わないこと。**
(一般の方々の迷惑になるため。)
- 地域住民の理解あつての大会です。
各個人が**マナー**を守って競技に挑みましょう



抗議及び審議委員会

- TOはJTU競技規則およびローカルルールに沿って大会を運営する義務がある。
- 審判長の判定等に関して不服がある場合は、抗議をすることができる。
ただし、以下に関することは抗議を受け付けない
 - **ブロッキング**
 - **暴言等、スポーツマン精神に反するもの**

抗議がある場合は、審議委員会に対して申し立てを行う。
審議委員会は、伴伸夫、栗原豊季、柴田葵によって組織される。



質疑応答について

ローカルルールなどについての質疑応答は個別に行う。
下記に示されたメールアドレスにて受け付ける。

jutu19info@gmail.com



ご清聴ありがとうございました。

**大会関係者一同、
皆様のご健闘を心よりお祈りしております！**

